

してスポーツ活動に参加できるようにすることをねらいとして昭和四十六年に創設されたものです。
表18のとおり、年次ごとの加入状況を見ますと、加入団体、加入者数とも増加してきております。
今後とも、スポーツ人口が増加することが予想されますので、県といたしましても、積極的に保険への加入促進に努めてまいります。

4 競技力の向上

国民体育大会をはじめ、各種の全国大会、国際大会等での本県選手の活躍に対する県民の期待は極めて大きいものがあります。

県といたしましては、県体育協会加盟の各競技団体が行う選手強化事業及び競技力向上ジュニア対策事業に対して、負担金を交付するとともに国民体育大会、東北総合体育大会への選手派遣をはじめ、我が国を代表してオリンピック大会、世界選手権大会等に参加する選手に対しても、遠征費の一部を助成するなど、競技力の向上に鋭意努めてまいります。

しかし、表19のとおり、ここ十年間の国体における本県の成績を見ますと、天皇杯、皇后杯順位とも全国的には中位以下で、東北各県と比較しても、青森、秋田、岩手の各県には遠く及ばない現状です。

また、十二回を数える東北総合体育

表16 本県スポーツクラブの状況

No	種 目	クラブ数	人数	No	種 目	クラブ数	人数
1	陸上競技	23	452	15	ソフトボール	2,386	43,827
2	野 球	1,783	27,639	16	バレーボール	957	9,345
3	軟式庭球	119	2,418	17	家庭バレーボール	1,032	14,491
4	テニ ス	123	3,327	18	空 手 道	39	1,067
5	サ ッ カ ー	162	3,863	19	スポーツ民舞	70	3,069
6	卓 球	181	3,566	20	ボウリング	17	624
7	剣 道	193	6,908	21	レクリエーション	12	254
8	水 泳	25	1,025	22	ダ ン ス	69	1,880
9	バスケットボール	125	2,886	23	ジャズダンス	35	765
10	バドミントン	182	3,657	24	ゲートボール	1,146	28,089
11	柔 道	51	1,398	25	少林寺拳法	15	530
12	弓 道	15	542	26	そ の 他	416	10,518
13	ス キ ー	89	3,073				
14	ス ケ ー ト	13	551	計	計	9,278	175,764

注：「保健体育要覧」（昭60）

表18 スポーツ安全協会傷害保険加入状況

（単位：団体、人）

年度 区分	55	56	57	58	59
団体数	6,783	7,365	7,720	7,740	7,952
人 数	212,239	223,650	229,464	224,387	223,204

注：「保健体育要覧」

大会での成績は、総合五位と振るわず概して本県の競技力は、低迷状態にあるといっても過言ではありません。
ただ、このような状況の中では、今回わかつり国体では、自転車競技が国体史上初の六年連続優勝の偉業を達成したのをはじめ、陸上、山岳競技等の健闘は誠にめざましく、今後、更にその活躍が期待されるのであります。
昭和七十年度の第五十回国民体育大会本県開催に向けて、本県競技力の飛躍的な向上を図っていくためには、解決しなければならぬ次のような課題があります。

- ① 組織について
○組織力（競技人口十指導者十競技役員）の充実

表17 小・中学校体育施設の開放状況

（単位：校、％）

年度		54	55	56	57	58	59
小 学 校	学 校 数	662	649	648	648	643	635
	開放校数	490	521	545	546	490	570
	開放率	74.0	80.3	84.1	84.3	76.5	89.8
中 学 校	学 校 数	254	251	248	248	245	247
	開放校数	213	219	226	229	208	228
	開放率	84.0	87.3	91.1	92.3	85.0	92.8

注：「保健体育要覧」

表19 国体・東北総体における東北各県の成績比較

県 名	国 体				東 北 総 体	
	天 皇 杯		皇 后 杯		過去12回 の平均順 位	順位
	過去10年 間の平均 順位	東北順位	過去10年 間の平均 順位	東北順位		
福 島	30.3	④	33.5	④	4.5	⑤
青 森	8.0	①	14.8	①	1.8	②
秋 田	17.0	②	22.1	②	1.7	①
岩 手	20.0	③	22.7	③	4.3	④
宮 城	36.0	⑤	34.8	⑤	3.5	③
山 形	36.6	⑥	36.7	⑥	5.2	⑥

注：「保健体育課調査」（昭60）

- ② 企業スポーツの組織化
○指導者について
○未普及種目の指導者の養成、確保
○指導者の資質の向上
- ③ 効果的な選手の育成強化事業の推進
○未普及種目の選手の確保
○企業スポーツ選手の確保
○女子、特に成年女子の確保
- ④ 施設について
○未保有競技施設の整備充実
- ⑤ 財源について
○選手の育成強化事業を効果的に推進するための財源の確保
したがって、県といたしましては、本県競技力の向上を図るため、今後、